

## ●● 周辺地域での清掃・環境美化活動

4月28日は「しぶやの日」です。渋谷区では、この日を中心に区内各地区で区民、事業者、区が一体となって清掃・環境美化活動「渋谷区一斉清掃の日」を実施しますが、カシオ計算機本社では2005年度もこれに合わせて、周辺の清掃・美化活動を実施しました。



本社周辺での清掃風景

この活動は自由参加で行われましたが、各部署より25名の方が集まりました。本社ビル周辺を全員で限なく清掃した結果、わずか30分ほどの間にもかかわらず、多くのゴミが集まりました。

また、カシオ計算機羽村技術センターでは2005年度より最寄りのJR小作駅前等の清掃ボランティア活動を定期的に行っており、カシオマイクロニクス(青梅)でも定期的に事業所周辺の清掃を行っています。このような各拠点での地域に貢献する活動は、今後とも機会があるごとに積極的に行いたいと考えています。

## ●● カシオワールドオープン開催

カシオ計算機は1981年以来、スポーツ振興と社会貢献を目指して、「カシオワールドオープンゴルフトーナメント」を主催しています。

2005年から創業者の出身地であり、主力の生産子会社を構える高知県の「Kochi黒潮カントリークラブ」に開催地を移し、新たなスタートを切りました。この年、より多くの方々にゴルフの楽しさを理解していただくために、天才少女として世界的に注目を集めているミシェル・ウィー選手(当時16歳)を日本のトーナメントとして初めて招待しました。会場には、ミシェル・ウィー選手を目当てに、平日にもかかわらず大勢のギャラリーが集まり、また国内外のマスコミも多数詰め掛けました。惜しくも1打差で土日の決勝ラウンドには進めませんでしたが、男子のトッププレイヤーと対等に戦った姿は、多くのファンを感動させてくれました。

また、開催地である高知県の方々に向けてさまざまな貢献活動を行っています。

カシオ計算機はトーナメント開催にご協力いただいた自治体にカシオ製デジタルカメラを寄贈しました。さらにトーナメントに出場したツアープレイヤーが子供たちを対象にゴルフスイングを教える地元ジュニアゴルファーへのレッスンを開催するとともに、小学校と協力し、記者会見



地元ジュニアゴルファーへのレッスン会

会場やテレビ放送の現場など、普段見ることができないトーナメントの舞台裏を説明を聞きながら見学できる課外授業を実施しました。また、地元の方々のスポーツ振興活動に役立てていただくために、トーナメント期間中に行ったチャリティの収益金を元にスポーツ用品を購入し、地域の福祉団体に寄贈しました。

2006年度も、従来同様に地元の方々に喜んでいただける大会を目指して、運営していきます。

## 市民社会への貢献

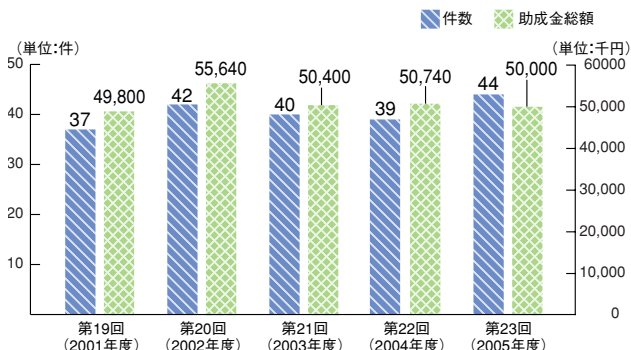
### ●● 科学技術の芽を育てたい —カシオ科学振興財団—

科学技術の根底を支える基礎研究分野。ここで発見された新しい原理が、後に世の中を大きく変えることも少なくありません。しかし基礎研究はすぐに利潤を生むものではないため、研究者の方々は国や大学などで限られた予算に頼っているのが現状です。そのような研究に資金を提供し、科学技術の振興に貢献しているのがカシオ科学振興財団です。

当財団は1982年に、故・榎尾茂前会長と榎尾4兄弟によって設立されました。若手研究者による萌芽的な段階にある先駆的かつ独創的研究を助成することを主眼に、毎年40件程度の研究助成を行うとともに、海外派遣、研究会助成も年間各10件程度行っています。

2005年度は44件の研究に対し、合計5,000万円の助成を行いました。対象となったのは、東京大学・土肥健純教授、東北大学・海野道郎教授、大阪大学・藤原康文教授などです。2005年12月2日に第23回の贈呈式を挙行し、助成金を贈りました。

### カシオ科学振興財団研究助成件数・助成金推移



カシオ科学振興財団 Webサイト  
<http://www.casio.co.jp/company/zaidan>

## 社会貢献活動

### ●● 「第5回イルカクジラ・エコリサーチ・ネットワーク」支援

カシオ計算機では1994年の「国際イルカ・クジラ会議」以来、アイサーチ・ジャパンとともに日本と世界のイルカ・クジラに関する教育・研究活動をサポートしています。2005年は「第5回イルカクジラ・エコリサーチ・ネットワーク」に参画し、アイサーチ・ジャパンのEXPO 2005「愛・地球博」(地球市民村)への出展\*と、日本における、よりよいイルカ・クジラ・ウォッチングの実現に向けた取り組みをサポートしました。

また、お台場のアンテナショップでの「イルカ・クジラステーション」の実施や、カシオ流通店頭でのフリーペーパー配布などを通じて、アイサーチ・ジャパンの活動の認知促進も図っています。

\* 2005年8月1日～31日JEAN(クリーンアップ全国事務局)との共同出展。



G-SHOCK「イルカ・クジラ・エコリサーチ・ネットワーク」モデル

### ●● 教員の民間企業派遣研修

経済界と教育界とのコミュニケーション促進の一環として行われる「教員の民間企業派遣研修」(主催:財団法人経済広報センター)に、今年もカシオ計算機が受入企業として協力しました。

同研修は、小・中・高等学校等の先生方に企業活動を体験していただき、その体験を授業を通じて子供たちに伝えてもらうことを目的として、1983年から毎年夏休み期間中に実施されています。近年特に、教育界や学校現場でこうした研修への関心が高まる一方、研修を通じて教育界との連携を図ることが「企業の社会的責任(CSR)」への取り組みの1つとなるとして、経済界や社会からも注目を集めています。

そうした中、カシオ計算機は昨年より、同研修の受け入れを始め、2度目となる今回は2005年8月3～5日の3日間のプログラムで、東京都と兵庫県の小・中学校の先生方7名を迎え実施しました。

本社と八王子技術センターの2ヶ所で、第一線の社員講師による多様な分野のプログラムを受けていただき、活発な意見交換も行われ、全日程を活況の内に修了しました。

研修に参加された先生方からは、民間企業の「目標」と「夢」を持った仕事の進め方や環境活動への注力に驚かされていました。こうした活動を教育現場にもぜひ活かしたいとの感想を述べられ、3日間という短期間ながら今回の研修に大いに満足されていたようです。一方で、女性管理職の話の聞きたい、講習だけでなく実



先生方への研修

●マークは、社会貢献分野のディスクロージャー&コミュニケーション活動です。

際に体験する場を増やして欲しいなどの要望もいただき、ぜひ次年度に活かしたいと考えています。

## 国際社会への貢献

### ●● 「北京大学日本学研究カシオ基金会」を設立

カシオ上海貿易では、日本学(日本語・日本文学・日本文化)の研究と教育レベルの向上を継続的に支援するために、中国内における日本学研究と教育の最高権威である北京大学と共同で「北京大学日本学研究カシオ基金会」を設立しました。

これは、日本語言語文化系で優秀な成績を修めた同大学外国語学院の学生および優秀な論文・研究成果を上げた教師に奨学金(一時金)を授与し、さらなる研究の糧にしてもらおうというものです。

基金会設立の調印式と奨学金の授与式は、2005年11月9日に行われ、記念すべき第1回の奨学金が、3名の学生と5名の教師に贈られました。



奨学金授与式

### ●● 世界少年野球大会協賛

カシオ計算機は1992年以来、世界の青少年の親善の輪を広げる趣旨に賛同して、「世界少年野球大会」に協賛しています。

本大会は、日米のホームラン・キングである王貞治氏とハンク・アーロン氏が提唱して、正しい野球を全世界に普及・発展させると同時に、世界の青少年に友情と親善の輪を広げようとの趣旨で、1990年にアメリカ・ロサンゼルスにて第1回大会が開催されました。その後、毎年世界の20数ヶ国から250余名の少年少女が参加して盛大に行われています。

2005年は、群馬県にて第16回大会が、7月28日から8月5日まで開催されました。野球教室や地元の子供たちとの交流行事が行われ、国際交流の輪が広がりました。

正しいスポーツの普及活動の充実、青少年の健全育成や余暇の有効活用の面からも、ますます重要になってきています。

野球というスポーツを通じ、子供たちの心が通い合い、友情が芽生える本大会に協賛することは、青少年の健全育成に寄与するものと考えています。



世界少年野球大会